

# 北九州地区小児科医会会報

## 講演会・カンファランスの等のご案内

### 北九州地区小児科医会例会のご案内

#### 第575回北九州地区小児科医会例会

- ※ 3月例会は休会です
- ※ 4月例会は調整中です

### 産業医科大学セミナー等のご案内

現地とWeb配信のハイブリッドで開催いたします。  
Webでの参加をご希望の先生は、  
j-syoni@mbox.med.uoeh-u.ac.jpまでご連絡願います。  
後日、参加方法の詳細をお知らせいたします。

#### 第13回八幡地区病院小児科合同カンファレンス

今回はJCHO九州病院小児科の高橋保彦先生に北九州での小児医療のご経験をご講演いただきます。  
日時：2022年3月14日（月）19：00～  
場所：産業医科大学大学2号館2208教室  
演題：新生児医療から小児在宅医療へ  
-北九州市での35年の経験から-  
演者：JCHO九州病院小児科 高橋 保彦 先生

#### 産業医科大学小児科セミナー

日時：2022年3月24日（木）18：00～  
場所：産業医科大学大学2号館2208教室  
演題：こどもの心電図のみかた  
演者：産業医科大学 小児科 清水 大輔 先生

#### 産業医科大学小児科セミナー

日時：2022年4月7日（木）18：00～  
場所：産業医科大学大学2号館2208教室  
演題：食物蛋白誘発胃腸症  
演者：産業医科大学 小児科 田中 健太郎 先生、  
川村 卓 先生、神田 里湖 先生

※4月の小児科クリニカルカンファレンスはお休みです

### その他講演会などのご案内

#### 第59回北九州小児血液・腫瘍懇話会（WEB配信あり）

日時：2022年3月11日（金）19：00～  
場所：リーガロイヤルホテル小倉 3階「クリスタル」  
演題1：「肝炎発症後の再生不良性貧血の治療戦略  
について」（仮）  
演者：産業医科大学 小児科学教室 助教 浅井 完 先生  
演題2：「2000年代出生の血友病患者のスポーツ参加と  
スポーツ関連出血」  
演者：福岡県済生会八幡総合病院 小児科 白山 理恵 先生  
特別講演：「血液内科医からみた最新の貧血治療について」  
演者：国立大学法人東北大学大学院 医学系研究科  
血液・免疫病学分野 教授 張替 秀郎 先生

#### 第3年度第2回乳幼児健診登録医療機関研修会

日時：2022年3月28日（月）19:00～  
場所：市立商工貿易会館2階「多目的ホール」  
演題：「小児眼科～目の検査の大切さ～」  
演者：北九州市立総合療育センター 眼科 高橋 広 先生

## 抗アレルギー薬の処方（気管支喘息とアレルギー性鼻炎）

乳児の咳では喘息様の症状を呈する場合には、喘息様気管支炎という病態が多く、治療としては、通常の鎮咳去痰薬に追加して、気管支拡張薬の投与が行われることになると思われます。プロカテロールには喘息様気管支炎に適応はありますが、ツロブテロール経皮吸収型テープには喘息様気管支炎の適応がありません。しかし、急性気管支炎に適応があることからプロカテロール同様に認めています。

小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2020では、間欠型の治療に該当する治療ステップ1では、症状出現時に短期間作用性吸入β2刺激薬(SABA)を対症的に用いるか、2週間を目途にロイコトリエン受容体拮抗薬(LTRA)の短期追加療法を行うとなっていますので参考にしてください。

気管支喘息の病名がつき、繰り返し処方される場合にはその処方の縦覧点検（当月請求と過去6か月のレセプトを照合）や突合点検（診療内容と処方内容が一致しているか点検）により、初診ではなく再診になることがあります。この判断には、前病に転帰が記入されているか、治療が短期であるかどうか、などが重要となってきます。繰り返しお願いしていますが、短期の気管支喘息については必要に応じて転帰の記入をお忘れなく。

アレルギー性鼻炎の治療について、2020年版鼻アレルギー診療ガイドラインでは、軽症例は第2世代抗ヒスタミン薬、ケミカルメディエーター遊離抑制薬、Th2サイトカイン阻害薬、鼻噴霧用ステロイド薬のいずれか一つを第一選択とするとなっています。中等症の鼻閉が強い症例では、①抗ロイコトリエン薬、②抗プロスタグランジンD2・トロンボキサンA2薬、③Th2サイトカイン阻害薬、④第2世代抗ヒスタミン薬・血管収縮薬配合剤、⑤鼻噴霧用ステロイド薬のいずれか一つを選択し、必要に応じて①、②、③に⑤を併用するとなっています。抗ロイコトリエン薬のブランルカストは適応ですが、モンテルカストの錠剤は適応で、細粒には適応がありませんのでご注意ください。比較的患者さんの多い疾患ですので、ぜひ診療ガイドラインをご一読ください。

抗プロスタグランジンD2・トロンボキサンA2薬のディレグラ配合錠Rの適応年齢は12歳以上であり、成人を含め2週間分(妥当なコメントがあれば1か月分)に投与制限がありますので注意が必要です。

例外的に短期治療であれば「1発作 = 1傷病名」が認められている気管支喘息とは違って、アレルギー性鼻炎は慢性疾患として取り扱われます。よって治療中止後1か月間はアレルギー性疾患での初診料は認められません。また、縦覧点検で過去にアレルギー性鼻炎の傷病名に転帰がない場合も診療継続中とみなされますので注意が必要です。

抗アレルギー薬一覧は国立病院機構東京病院薬剤部作成の表 (<https://tokyo-hp.hosp.go.jp/bumon/yakuzai/pdf/yakuzai06.pdf>)などを参考にしてください。

(福岡県小児科審査委員連絡会)

## 協議事項・報告事項

1) 2022年7月2日に福岡県小児科医会総会があり、今回は北九州地区小児科医会が担当となります。講演をいただく先生に交渉し、了解をいただいています。

TOTOの前副社長 猿渡辰彦様  
長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科長 北 潔先生

2) 第54回日本小児感染症学会・学術集会  
(2022年11月5日-6日アクロス福岡、会頭：楠原教授)  
に対して、協賛金として10万円の寄付を行っています。

3) 北九州市及び福岡県からのワクチン接種後健康状況調査の依頼について

2年毎に調整しながら行ってきましたが、役員内で担当を決定すると、会員の少ない地域の理事を担当されている先生が継続して何年も行う状況が続いています。

今後は、役員に限らずに北九州地区小児科医会の会員の中で順に行っていく方法を検討する必要があります。勤務医の先生では難しいところもありますので、開業されている会員の先生の中かで、近年の経緯と鑑みて順番に(例えば、50音順など...) 検討させていただくこととしています。

4) 今月の新型コロナウイルス感染症への対応について情報交換・協議はありません。

## 委員会報告

1. 学術委員会報告：白川嘉継  
2022年

3月 休会

4月 調整中

5月 協和キリン株式会社

大阪母子医療センター骨発育疾患研究部門部長  
道上敏美先生

6月 ツムラと調整中

7月 同月に福岡県小児科医会総会開催があるため検討中

8月 休会

9月 ワクチンフォーラム

10月 調整中：鳥居薬品株式会社

11月 調整中：ノーベルファーマ

12月 調整中：株式会社ツムラ

その他、COVID19のため、委員会は行われておりません。